

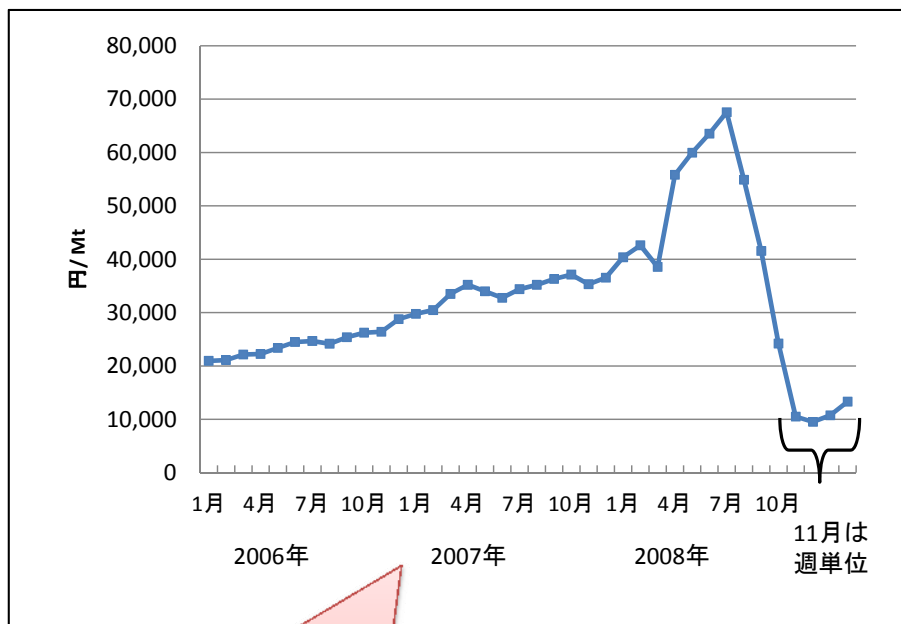
循環資源の価格と輸出量の推移

世界景気の減速を受け、多くの資源価格が急落。鉄スクラップ、PETフレークといった再生品は依然として有価として取引されているものの、今後の推移を注視する必要がある。

輸出量への影響については、現在までに得られているデータではまだ不確定ではあるが、鉄については減少傾向が見られるなど、さらに注視が必要。

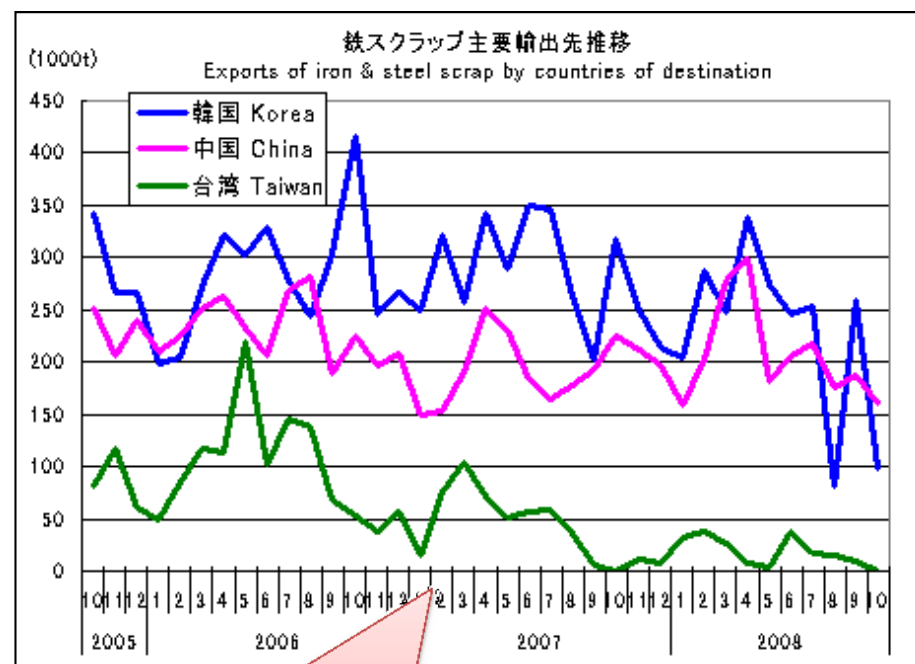
鉄スクラップ

鉄スクラップ価格の推移(2006～)



(出典: 日本鉄源協会)

- 夏以降、スクラップ価格が急落。
- ただし、11月以降は下げ止まっている。



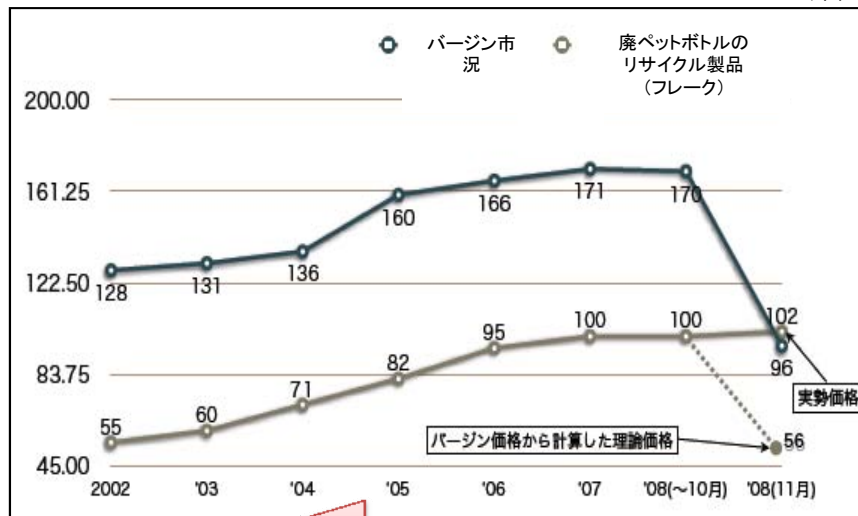
(出典: 日本鉄源協会)

- 輸出高も価格変動の影響を受け、減少傾向。

ペットボトル

国内のPETフレーク・バージン市況推移

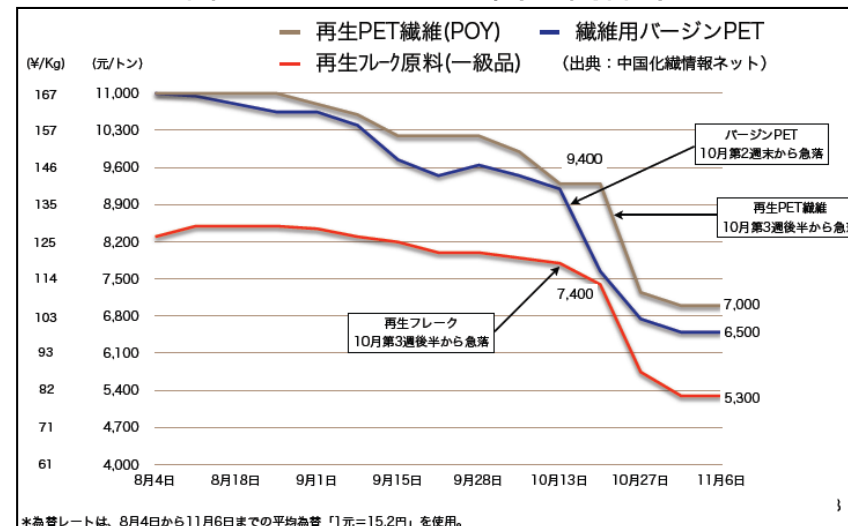
(単位: ¥/Kg)



(出典: 廃PETボトル再商品化協議会)

- 新品(バージン)のペット樹脂の価格は、原油市場の変化を反映して秋に入り急落。
- 廃ペットボトルのリサイクル製品(フレーク)については、価格低下が見込まれる。

中国内におけるPET関連商品市況



*為替レートは、8月4日から11月6日までの平均為替「1元=15.2円」を使用。

(出典: 廃PETボトル再商品化協議会)

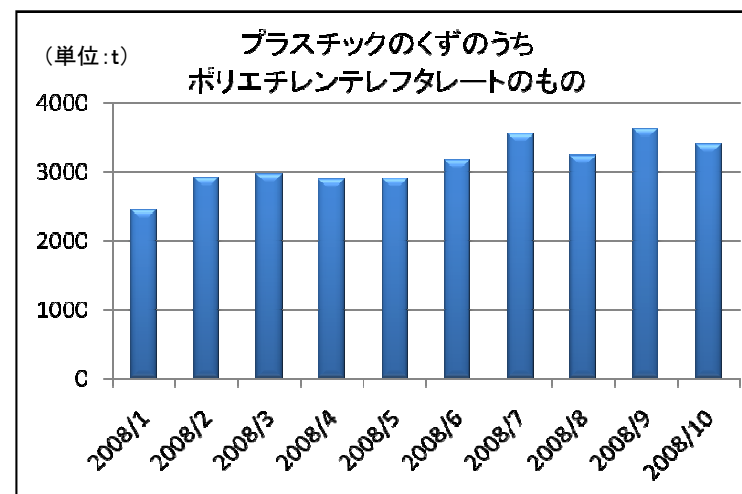
- 近年、アジアの資源重要の増大等に伴い、国内の廃ペットボトルが、中国などに輸出される状況が出現していた。
- しかし、秋に入り、中国でもフレークの価格が急落。

ペットボトルの輸出量について

○廃ペットボトルの輸出量について把握できる統計データとしては、財務省貿易統計資料における「プラスチックくずのうちポリエチレンテレフタレートのもの」の輸出量がある。

○ただし、右記の量は、ペットボトル由来以外のものや事業系回収も含む。

○なお、PETボトルリサイクル推進協議会では、平成18~19年度におけるペットくずに占める廃ペットボトル由来のもの割合を81%、その量を29.5万トンと推計している。

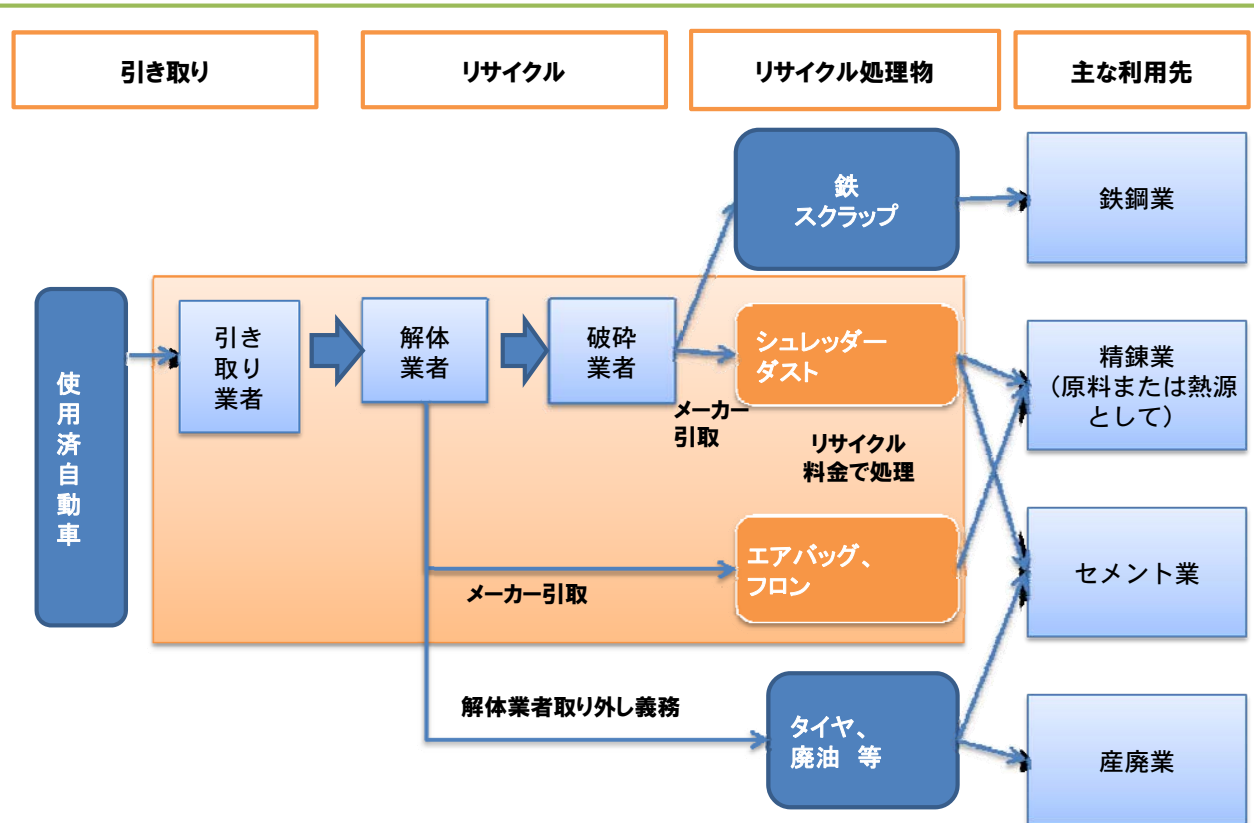


(出典: 財務省貿易統計月報)

自動車リサイクル法

○使用済自動車については、自動車リサイクル法(平成14年制定)に基づき、これまで静脈インフラを担ってきた関係者の役割分担を維持しつつ、市場原理に基づいた使用済自動車のリサイクル・適正処理の持続的な取組の環境整備を図っている。

自動車リサイクルの流れ



今般の市況の変化への対応

- 夏までは鉄スクラップの高騰により、鉄リサイクル市場は新規参入も多く過当競争。
- 鉄スクラップ市場の反落により、自動車リサイクル法で市場原理に任せていた自動車の鉄スクラップは金を払って鉄鋼業に引き取ってもらう事態が生じる可能性も否定できない。これが自動車リサイクル法制度全体にも影響するおそれ。



現在、自動車リサイクル法の見直しを行っているが、その中で、鉄スクラップ市況の急激な変化が自動車リサイクル制度にどのように影響を及ぼすのかを含め、検討を行う。

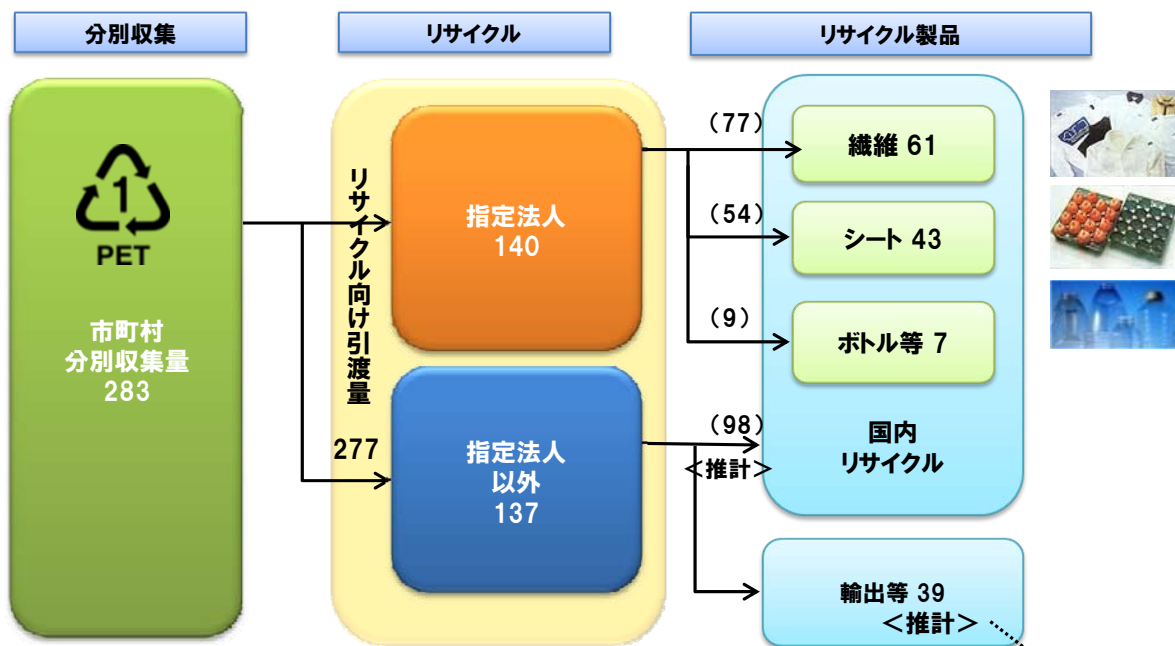
自動車リサイクル法は、図のオレンジの部分(中央の囲い部分)に係る料金のみリサイクル料金として義務づけ、その他の物品は市場原理で取引。

容器包装リサイクル法

○家庭から排出されるペットボトルなどの容器包装廃棄物について、容器包装リサイクル法(平成7年制定)に基づき、消費者が分別排出したものを市町村が分別収集し、事業者が費用を負担してリサイクルを実施。事業者のリサイクルについては、指定法人が代行。

ペットボトルの回収・再商品化の流れ(平成19年度) (単位:千トン)

()内は製品別処理量



ペットボトルから作られた詰め物を使用したと思われる中国製のぬいぐるみ



- 指定法人に引き渡されると国内でリサイクルされる。
- 指定法人以外の引渡は、国内リサイクル又は原材料として輸出。

今般の市況の変化への対応

今般の市況の変化によって、

- ①市町村で指定法人に引き渡さず独自に処理する予定であった使用済ペットボトルの引取先が決まらず、保管施設に滞る市町村が発生
- ②バージン市況の急落に加え、輸出されていた廃ペットボトルが国内で再商品化され国内流通が増加することを受けて、国内の再商品化製品価格が大幅に下落

といったことが生じる可能性。



これに対して、通常の年度ごとの運用に関わらず、以下の点について柔軟に対応。

- ①従来独自処理を行っていた市町村を含め、市町村から指定法人への引渡しの追加申込を受け付ける。
- ②指定法人と再商品化事業者との間で既に締結している今年度分の契約について、市況の急変に対応し年度途中の契約変更を認める。